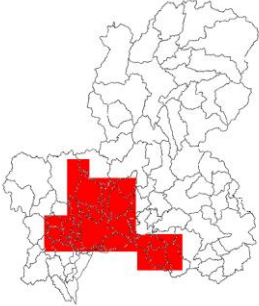


カミガモシダ	<i>Asplenium oligophlebium</i> Baker	準絶滅危惧
		チャセンシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が集落近くの山林、岩場など不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。愛好家による園芸採取も多い。	写真(村長昭義)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く斜上し、葉身は単羽状複生。羽片は三角状長楕円形に見える。中軸の先端は伸びて芽をつけ繁殖する。	
生態的特徴	山地の岩上や地上に生育し、密に群生することがある。	
分布状況	本州(新潟県・岐阜県以西)から九州に分布する。岐阜県では県南中部と周辺地域に分布する。	
減少要因	山林開発、道路工事、治山工事などによる生育地の消失。愛好家による採集圧が強い。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成